

まえがき	テクニカルレポート2015発刊にあたり	2
特別寄稿	インフラのストック効果を正しく評価する知性ある勇気を 京都大学大学院教授・内閣官房参与 藤井 聡	3
ストック マネジメント	大野頭首工における高性能無人ヘリロボット (UAV) とひび割れ 計測システム (KUMONOS) 適用による機能診断調査の効率化 設計計画本部 川村 広樹 (技術士 建設部門—河川、砂防及び海岸・海洋) 升方 祐輔 (RCCM 河川、砂防及び海岸・海洋部門) 阿曾 克司 (技術士 建設部門・総合技術監理部門) 一願 稔 (技術士 建設部門・総合技術監理部門、コンクリート診断士) 地理空間情報本部 横瀬 彰三 (技術士 建設部門—鋼構造及びコンクリート、コンクリート診断士)	5
	道路附属物データベースの課題と展望 地理空間情報部門 吉田 昌弘 米島 秀浩 (測量士) 羽黒 厚志 神谷 紳一郎	9
防災・減災	超過降雨に対応する合流式下水道の大規模地下雨水調整池の設計 水環境部 城岸 巧 中村 元紀 設計計画本部 阿曾 克司 (博士 (工学) 技術士 建設部門・総合技術監理部門)	11
	B-DASHプロジェクト 設計計画本部 阿曾 克司 (博士 (工学) 技術士 建設部門・総合技術管理部門) 荒井 秀和 (技術士 建設部門—建設環境 RCCM (下水道)) 升方 祐輔 (RCCM (河川、砂防及び海岸・海洋 電力土木)) 城岸 巧 羽黒 厚志 吉田 昌弘	13
低炭素社会	従属発電における独立事業収支確保の方策と対応 設計計画本部 古野 昌吾 (技術士 建設部門—道路) 阿曾 克司 (技術士 建設部門・総合技術監理部門) 升方 祐輔 (RCCM 河川、砂防及び海岸・海洋部門)	15
	北陸新幹線開業 (分離駅) に合わせた公共交通整備検討 設計計画本部 大門 健一 (技術士 建設部門・総合技術監理部門) 道木 健	19
再生可能 エネルギー事業	NiXマネジメント事業の展開～新たなステージを迎えて～ 設計計画本部 阿曾 克司 (博士 (工学) 技術士 建設部門・総合技術管理部門)	21
注目トピックス	人口減少とコンサルタント技術者の東京一極集中 代表取締役社長 市森 友明 (技術士 建設部門・総合技術監理部門)	23
	会社概要	25

テクニカルレポート2015発刊にあたり

皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、ニックステクニカルレポート2015をお届けいたします。2014年度に発注者の皆様からいただいたお仕事を中心に、知見となるものをピックアップして取りまとめたものでございます。まだまだ技術研鑽の道半ばではありますが、ご笑納いただければ幸いです。また今回も引き続き内閣官房参与の藤井聡京都大学大学院教授に寄稿いただいております。今回は「インフラのストック効果を正しく評価する知性ある勇気を」として、インフラに対する根拠なき誤った主張に対する警鐘と王道中の王道の「インフラ論」を語り始めることのススメについて述べられています。

その他、当社のコンサルタント重点3事業分野である、ストックマネジメント事業、防災・減災事業、低炭素社会づくり事業について、代表的な事業を取り上げ、またコンサルタント事業以外のものとして、マネジメント事業を取り上げております。また末稿では私なりに昨今話題となっている人口減少と東京一極集中の是正について一考述べさせていただきました。

さて、現在公共事業を取り巻く市場環境は、アベノミクスの経済対策や復興事業がピークを過ぎ、漸減期を迎えたと言えるかもしれません。平成28年度以降の公共事業費がどのような傾向になるのか、今後の予算編成が注目される所ですが、政府の「地方創生」や国土交通省様が提唱される「コンパクト+ネットワーク」等の方針において、人口減少社会に対峙する内容になることを期待したいものです。

一方で我々民間企業は与えられたマーケットの中で精一杯切磋琢磨することには変わりありませんので、さらなる技術の研鑽を積み、公共事業の迅速かつ効率的な執行に貢献していきたいと考えておりますし、本テクニカルレポートもそのような役割の一端を担っていると考えております。

最後になりますが、微力ながら、技術的なご報告をさせていただくことで、機会を与えていただいた発注者の皆様への恩返しの一部になればと思います。これからも皆様のお役に立てるよう努力いたします。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成27年11月

(株)新日本コンサルタント 代表取締役社長 市森 友明